

V 図書館資料の使い方

さて、物事を調べていく過程で、さまざまな資料を利用する必要があります。それでは、図書館の資料を効率よく活用するには、どうしたらよいのでしょうか。

1 参考資料を活用するには

物事を調べていく上で、まず、参考資料を利用すると便利です。参考資料とは、百科事典や図鑑のことをいいます。参考資料を使うときは、次のことを覚えておくことより使いやすく、有効に活用できるようになります。

(1) 図鑑や百科事典は索引から引きましょう

索引は、本の中の言葉や事柄を「あいうえお順」などに並べて、どの巻のどのページに書かれているかを示したものです。図鑑や百科事典の索引には見出しにない言葉も掲載されており、調べたい言葉をより広く探すことができます。

見出しに載っていないからといって、あきらめずに索引にもあたってみましょう。関連する事柄が見つかるかもしれません。

《索引の例》

あ

アーカンソー州 163
アーザード・カシミール 25
アルガウ州 72
アイオワ州 135
アイスランド共和国 101
アイダホ州 12
愛知県 84

(2) 凡例^{はんれい}を見ましょう

事典などは、一般的に、本の前方のページにその本の使い方が説明されています。これを凡例といいます。

本にはそれぞれ掲載されている内容や時期、記号の使い方などに特徴がありますので、凡例はその確認に使うことができます。

《凡例の例》

〈項目の構成〉

- ①古代から現代までの……
- ②各項目は……

〈項目の配列〉

- ①見出し語読みの……
- ②片仮名・平仮名…の順……

〈見出し語〉

- ①項目名には…採用……
- ②読み仮名は……

〈本文解説〉

- ①解説冒頭に……
- ②解説文中の……

〈用字・用語など〉

- ①現代仮名遣いによった……
- ②外国の人名・地名の表記は……

(3) 出版年を確認しましょう（「奥付」の見方）

本の末尾には出版年や発行者などが書かれている「奥付」があります。地理や政治・経済などの分野の本は、政治、経済、社会情勢の変化により、出版年によっては書かれている内容が大きく変わっている場合がありますので、「奥付」をよく確認し、出版年には十分注意してください。

《奥付の例》

環境白書（平成13年度）……………→書名

平成13年5月29日発行……………→出版年

編集 環境省総合環境政策局環境計画課……………→著者、編者

発行 ぎょうせい……………→発行者

ISBN4-324-0690-X……………→国際標準図書番号

『環境白書（平成13年度）』の奥付を一部略して記しています。

2 新聞・雑誌を活用するには

中央図書館では、いろいろな新聞を保存していますが、中には、明治期から所蔵しているものもあり、誰でも閲覧することができます。また、雑誌も古いものから現在のものまで、数多く保存しており、新聞と同様に閲覧ができます。

新聞や雑誌には、明治から現在にいたるまでの事件や事故など、世界中のさまざまな出来事がたくさん載っています。本では情報が足りない場合や最近の出来事で本が出版されていない場合などに、とても役立ちます。

古い新聞や雑誌は地下にある書庫に保管しています。利用したいときは、見てみたい新聞・雑誌を「閉架資料閲覧申込票」に記入して、2階の貸出カウンターに申し込んでください。

また、自分で調べたいテーマについての情報が、いつごろの新聞や雑誌に記事が載っているか調べたいときは、相談カウンターの職員にたずねてください。

VI 調べ方の流れ

ここで、一つのテーマについて調べるときの流れをみてみましょう。例として、「自分の興味のある国について、あるテーマを見つけて調べる」こととしてみます。

1 調べる国を選ぶ

調べるのは、どの国のどんなことでもいいとなると、なかなかテーマを絞りきれず、頭を悩ますところです。とはいえ、興味のある国は少なくとも一つはあるでしょう。最近ニュースで見た国や、サッカーが好きな人ならサッカーの強い国など、選ぶ方法はいろいろあります。

例

花子さんは小さい頃からトーベ・ヤンソン作のムーミン・シリーズが好きだったので、その故郷フィンランドについて調べてみようと思いました。

2 調べる国が決まったら……

(1) まず始めに、『最新世界各国要覧』(①)や『世界年鑑』(②)を見てみました。その結果、人口・政治・経済・社会事情について分かりました。

(2) でも、もう少し歴史や文化、自然などについて調べてみたかったので、『読んで旅する世界の歴史と文化 北欧』(③)と『図説大百科世界の地理6 北ヨーロッパ』(④)を見てみました。

(3) そこには、フィンランド人が誇りとする「三つのS」というものが紹介されていました。これは、「シベリウス」「サウナ」「シス(フィンランド魂)」のことだそうです。

「三つのS」に興味をもった花子さんは、これらのことを中心に調べてみようと思いました。



フィンランドの地図

その1 「シベリウス」について調べる

③、④でフィンランドにはシベリウスという音楽家がいることがわかったので、平凡社の『音楽大事典』(⑤)を見てみました。そこに、肖像や経歴、作品などが載っていました。

もっと詳しく調べてみたかったので、図書館の検索機で伝記を探しました。何冊かあったので借りて読んでみることにしました。また、中央図書館にはシベリウスの作品を収録しているCDもあったので、いくつか代表的な作品を聴いてみました。



その2 「サウナ」について調べる

もっと詳しく知りたいと思ったので、フィンランドについての本を探してみました。

そこで、フィンランド大使館発行の『SISU (シス)』(⑥)という本を見つけました。ここで「三つのS」について特集が組まれおり、サウナのことのほか、「三つのS」について書かれています。

その3 シス (フィンランド魂) について

⑥にもいろいろ書いてありましたが、他にないかと思い、百科事典類を見てみましたが見つかりませんでした。

フィンランド語辞典に何かないかと思い、見てみました。「シス (sisu)」とは闘争心、忍耐力といった意味であることがわかりました。

最後に、図書館でフィンランドを紹介したレーザーディスク (LD) があったので、見てみました。



最後は、調べた情報をもとに、レポートをまとめれば、終了です。

3 調べ学習における図書館活用 ～まとめ～

(1) まず、百科事典などで調べてみるようにしましょう。

ある程度の情報が得られるので、最初は百科事典で調べてみてください。

(2) 調べた本の情報（書名、著者名等）は必ずメモしておきましょう。

後になってもう一度その本を見てみたくなったとき、どの本で調べたのかメモしておかないと分からなくなってしまいます。

(3) いくつかの本で内容を比べましょう。

本には誤記がある可能性があります。一つの本を丸写しするようなことはしないで、いくつか（最低でも2つ）の本で内容を見比べてみましょう。

(4) 書かれている内容の書かれた時期をきちんと確認しましょう。

政治や経済、社会情勢などは年によって変化します。これらを扱っている本は、年によって内容が変わることが多いので、出版年に十分注意しましょう。

